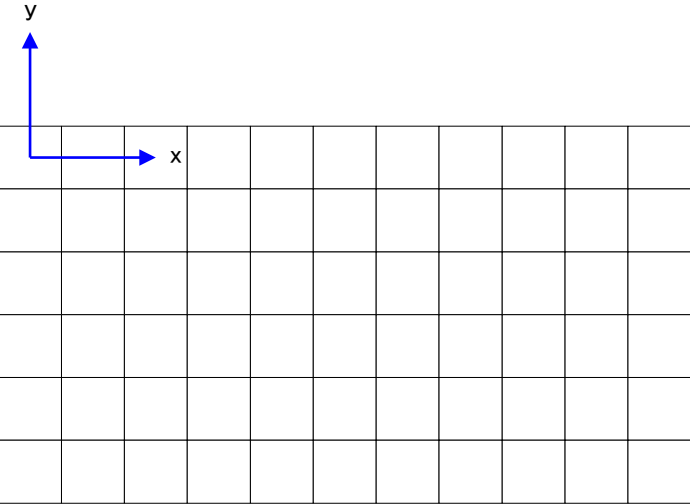
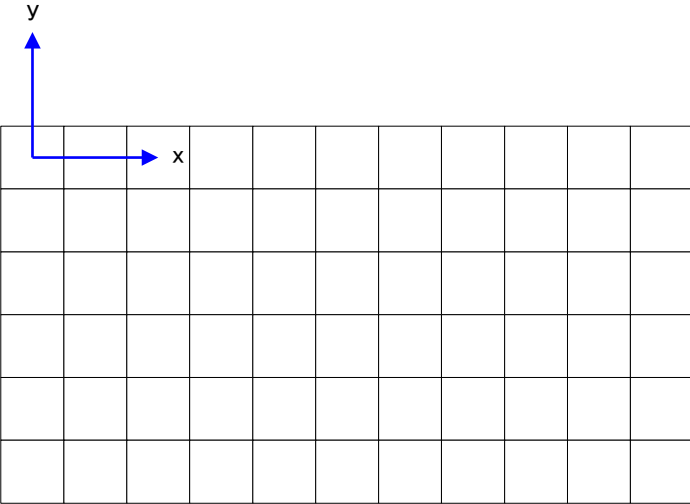


平成24年度
－公共測量－ 作業規程の準則の一部改正(案)

付録7 公共測量標準図式

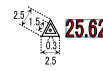
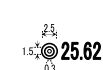
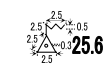
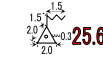
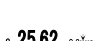
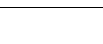
新旧対照表

改 正 (案)	現 行	コメント
数値地形図データファイル仕様	数値地形図データファイル仕様	
第 3 章 写真地図データファイル仕様	第 3 章 写真地図データファイル仕様	
第 1 節 通則	第 1 節 通則	
(図郭割り) 第 1 0 0 条 写真地図データファイルの格納は、国土基本図図郭を基本とした図郭単位とし、適宜分割することができる。 2 写真地図データファイルの位置情報を付加するためのインデックスファイルとして、位置情報ファイルを図郭ごとに作成する。	(図郭割り) 第 1 0 0 条 写真地図データファイルの格納は、国土基本図図郭を基本とした図郭単位とし、適宜分割することができる。 2 写真地図データファイルの位置情報を付加するためのインデックスファイルとして、位置情報ファイルを図郭ごとに作成する。	
第 2 節 写真地図データファイル	第 2 節 写真地図データファイル	
(ファイル仕様) 第 1 0 1 条 写真地図データファイルは、原則として非圧縮 TIFF 仕様で格納するものとする。	(ファイル仕様) 第 1 0 1 条 写真地図データファイルは、原則として非圧縮 TIFF 仕様で格納するものとする。	
(ファイル命名則) 第 1 0 2 条 写真地図データファイルの名称は、数値地形図データファイル名称に準じる。 2 写真地図データファイルの拡張子は、TIF とする。	(ファイル命名則) 第 1 0 2 条 写真地図データファイルの名称は、数値地形図データファイル名称に準じる。 2 写真地図データファイルの拡張子は、TIF とする。	
第 3 節 位置情報ファイル	第 3 節 位置情報ファイル	
(ファイル仕様) 第 1 0 3 条 位置情報ファイルは、原則としてワールドファイル仕様で格納するものとする。 2 ワールドファイル仕様は、次の各号による。 一 画像座標系から地上座標系へ変換を行う際の、アフィン変換の 6 パラメータ (a から f) を順番に各 1 行で記述する。 アフィン変換は、次式で表される。 $\begin{cases} x' = ax + cy + e \\ y' = bx + dy + f \end{cases}$ ここで、 x' : 地上座標系の x 座標 (数学系-東西、単位 : m) y' : 地上座標系の y 座標 (数学系-南北、単位 : m) x : 画像座標系の x 座標 (コラム又は列、単位 : 画素) y : 画像座標系の y 座標 (ロウ又は行、単位 : 画素) a ～ f : アフィン変数 二 座標の原点は、下図に示す左上画素の中心を原点とする。	(ファイル仕様) 第 1 0 3 条 位置情報ファイルは、原則としてワールドファイル仕様で格納するものとする。 2 ワールドファイル仕様は、次の各号による。 一 画像座標系から地上座標系へ変換を行う際の、アフィン変換の 6 パラメータ (a から f) を順番に各 1 行で記述する。 アフィン変換は、次式で表される。 $\begin{cases} x' = ax + by + c \\ y' = dx + ey + f \end{cases}$ ここで、 x' : 地上座標系の x 座標 (数学系-東西、単位 : m) y' : 地上座標系の y 座標 (数学系-南北、単位 : m) x : 画像座標系の x 座標 (コラム又は列、単位 : 画素) y : 画像座標系の y 座標 (ロウ又は行、単位 : 画素) a ～ f : アフィン変数 二 座標の原点は、下図に示す左上画素の中心を原点とする。	

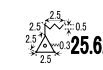
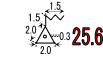
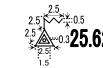
		
(ファイル命名則) 第 1 0 4 条 ワールドファイルの名称は、写真地図データファイル名称に準じる。 2 ワールドファイルの拡張子は、TFW とする。	(ファイル命名則) 第 1 0 4 条 ワールドファイルの名称は、写真地図データファイル名称に準じる。 2 ワールドファイルの拡張子は、TFW とする。	

改 正（案）										現 行										コメント								
数値地形図データ取得分類基準表										数値地形図データ取得分類基準表																		
交通施設										交通施設																		
大分 分 類	コード	レイ ヤ	項目 目次	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タイ プ					線 号	道 用	備 考											
					500	1000	2500	5000		取得方法	図 影 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向								属 性 数 値						
交 通 施 設	22			21 バス 停	一般 道路 河川					位置の点情報を取得 ○ 挿入位置		点	E5			3	道路にあるいは歩道上に設けられたバスの停留所をいう。											
				22 安全地帯	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			3	道路にあるいは駅前広場等に設けられた安全地帯（安全島）をいう。											
				26 分 離 帯	一般 道路 河川	一般				外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			3	分離帯とは、道路の分離帯、ロータリーの中央島等をいい、正射影を表示する。											
						一般				中心線を取得		線	E2			2	分離帯の幅員が図上0.4mm未満のものは、中心線を一条線で表示する。											
				27 駒 止	一般 道路 河川					道路側の線部を取得		線	E2			6	道路上に設けられたコンクリート製のブロックをいう。											
				28 道路の雪置い等	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）						3	雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう。											
						一般				外周を取得（始終点座標一致）		面	E1				道路の雪置い等とは、雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいい、長さが図上2.0mm以上のものについて正射影を表示する。											
				31 側溝 U字溝無蓋	道路					線部を取得		線	E2			3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。											
				32 側溝 U字溝有蓋	道路					線部を取得		線	E2			3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。											
				33 側溝 L字溝	道路					線部を取得		線	E2			3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。											
地形等										地形等																		
大分 分 類	コード	レイ ヤ	項目 目次	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タイ プ					線 号	道 用	備 考											
					500	1000	2500	5000		取得方法	図 影 区 分	デ ー タ	レ コ ー ド	方 向								属 性 数 値						
地 形 等	73			01 三 角 点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） △ 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された三角点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。											
										25.62 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
					一般					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） △ 挿入位置		点	E5		有		三角点とは、基本測量により設置された三角点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したものの高架部下のものについては表示しない。											
										25.6 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
				02 水 準 点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） □ 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された水準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。											
										25.621 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
	73			02 水 準 点	一般					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） □ 挿入位置		点	E5		有	4	水準点とは、基本測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもののトンネル内、高架部下のものについては表示しない。											
										25.62 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
										25.62 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
										25.62 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
				03 多角点等	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） ○ 挿入位置		点	E5		有	4	基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいう。標石の亡失したものについては表示しない。											
										25.62 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
	73			03 多角点等	一般					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） ○ 挿入位置		点	E5		有	4	多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。											
										25.6 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
										25.6 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
										25.6 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											
				03 多角点等	一般					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm） ○ 挿入位置		点	E5		有	4	多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。											
										25.6 挿入位置		注記	E7				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）											

地形等

大分 分 類	分 類 コード	名 称	地価情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ				種 号	用	備 考				
			500	1000	2500	5000		取得方法	図 影 区 分	デ ィ タ	レ コ ー ド				方 向 数 値			
地 形 点 等	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点を用いる。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）							
					25.62 挿入位置	注記 E7												
		一般		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4				公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点を用いる。すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、高麗部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）					
				25.6 挿入位置	注記 E7													
	73	05	公共基準点（水準点）	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点を用いる。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）						
						25.621 挿入位置	注記 E7											
		一般		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点を用いる。すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高麗部下のものについては表示しない。				点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）					
				25.62 挿入位置	注記 E7													
	06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）							
					25.62 挿入位置	注記 E7												
	07	その他の基準点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	2	工事等の遂行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点を用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）							
					25.62 挿入位置	注記 E7												
08	電子基準点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		点 E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点を用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）								
				25.62 挿入位置	注記 E7													
		一般		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		点 E5	有				4	基本測量により設置された電子基準点を用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）					
				25.6 挿入位置	注記 E7													
73	09	公共電子基準点	一般 道路 河川		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。		点 E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点を用いる。標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）							
					25.62 挿入位置	注記 E7												
					11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川					基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点を用いる。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
												25.62 挿入位置	注記 E7					
11	標石を有しない標高点	一般		基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点を用いる。必要に応じて表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）								
				25.6 挿入位置	注記 E7													

地形等

大分 分類	分 コード	名 称	地価情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ				種 号	用 途	備 考
			500	1000	2500	5000		取得方法	図形 区分	デ ィ タ	レ コ ー ド 数			
地 基 準 点 等	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川			25.6	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							25.6	挿入位置	注記 E7					
		一般			25.6	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、高脚部下のものについては表示しない。		点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.6	挿入位置	注記 E7						
	73	05	公共基準点（水準点）	一般 道路 河川		25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							25.62	挿入位置	注記 E7					
		一般			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高脚部下のものについては表示しない。		点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.62	挿入位置	注記 E7						
	06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							25.62	挿入位置	注記 E7					
	07	その他の基準点	一般 道路 河川			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	2	工事等の進行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							25.62	挿入位置	注記 E7					
08	電子基準点	一般 道路 河川			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高数値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		点 E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.62	挿入位置	注記 E7						
		一般			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は電子基準点付属標の標高（単位：mm）		点 E5	有		4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
						25.62	挿入位置	注記 E7						
73	09	公共電子基準点	一般 道路 河川		25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は、電子基準点付属標の標高（単位：mm）		点 E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。 標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.62	挿入位置	注記 E7						
		一般			25.62	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有		4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点を含む。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
						25.62	挿入位置	注記 E7						
11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川			25.6	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値（単位：mm）		点 E5	有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点を含む。必要に応じて表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.6	挿入位置	注記 E7						

改正(案)

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域									
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点										
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X									
		10		20		30		40		50		60		70		80											

撮影コース番号……………当該図郭に関する**空中**写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月……………当該図郭に関する**空中**写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺……………当該図郭に関する**空中写真の地上画素寸法をcm単位で入力する。フィルム航空カメラ撮影の場合撮影縮尺の分母数を入力する。また、**航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数……………当該図郭に関する**空中**写真の当該コース番号についての枚数
写真番号……………当該図郭に関する**空中**写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………
新規 修正1回目 修正2回目
のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	要素数										取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域																										
	分類コード		地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性																															
	レイヤ	項目																																													
A2	I4	I2	I4	I4	I2	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I1	A4	A4	A4	I2	X																									
		10		20		30		40		50		60		70		80																															

レコードタイプ……………「H△」に固定
地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード
分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード
地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)
階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数
総数……………全要素数
グループ……………グループ化した要素の数
面……………面データタイプの数
線……………線データタイプの数
円……………円データタイプの数
円弧……………円弧データタイプの数
点……………点データタイプの数
方向……………方向データタイプの数
注記……………注記データタイプの数
属性……………属性データタイプの数
グリッド・TIN……………グリッド要素の数とTIN(不整三角網)の数の合計。通常は1、(例、DTMとDSMがある場合は2)
取得年月……………当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

現 行

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域									
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点										
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X									
		10		20		30		40		50		60		70		80											

撮影コース番号……………当該図郭に関する写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月……………当該図郭に関する写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺……………当該図郭に関する**写真の縮尺の分母数**。航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数……………当該図郭に関する写真の当該コース番号についての枚数
写真番号……………当該図郭に関する写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………
新規 修正1回目 修正2回目
のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	要素数										取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域																										
	分類コード		地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性																															
	レイヤ	項目																																													
A2	I4	I2	I4	I4	I2	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I1	A4	A4	A4	I2	X																									
		10		20		30		40		50		60		70		80																															

レコードタイプ……………「H△」に固定
地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード
分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード
地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)
階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数

取得年月……………当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

説明注記の追加

説明注記の追加
(TINの説明を追加した事により全説明を追加)

フォーマットに含
せ、説明注記の上
下を入れ替え

改 正 (案)

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

コード	内 容
0	実データなし(地形表面の高さを計測したもの)
1	実データなし(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード(地形表面の高さを計測したもの)
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)

注 記 区 分

コード	内 容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

図 形 区 分

コード	内 容	対象となる取得分類項目
0	非 区 分	下記に該当しない全データ
11	射影部の上端	石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、
12	射影部の下端	人工斜面、被覆等の射影をもつもの
21	高 欄	道路橋、鉄道橋
22	橋 脚	
23	親柱	
26	ガードレール	道路施設
27	ガードパイプ	
31	中 庭 線	建物
32	棟 割 線	
33	階 層 線	
34	外 付 階 段	
35	ポーチーひさし	
46	高側敷地のへい	横断
47	輸送管(空間)	小物体
51	表層面	数値地形モデル
52	海水面	
61	直線	中心線
62	円弧	
63	クロソイド	
64	その他の緩和曲線	
71	石杭	境界標
72	コンクリート	
73	合成樹脂杭	
74	不銹鋼杭	
75	その他の境界標	
76	境界計算点	
81	オリジナルデータ	
82	グランドデータ	
99	表現補助データ	横断歩道・石段等の階段部

データタイプ

レコードタイプ

面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

間 断 区 分

コード	内 容
0	間断しない
1～9	間断する(数値は優先順位)

転 位 区 分

コード	内 容
0	転位しない
1～ 9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1～-9	座標列の方向に対して左側に転位する

精度区分

コード	上 位 桁	下 位 桁
	数 値 化 区 分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1～ 50
2	TS等を用いた数値実測	～ 100
3	数値図化法・他の数値地形図データの利用	～ 250
4	既成図数値化(無伸縮図面を使用) *	～ 500
5	既成図数値化(伸縮図面を使用) *	～ 1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	～ 2500
7		～ 5000
8		～10000
9	その他	その他

現 行

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

コード	内 容
0	実データなし(地形表面の高さを計測したもの)
1	実データなし(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード(地形表面の高さを計測したもの)
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード(人工構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの)

注 記 区 分

コード	内 容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

図 形 区 分

コード	内 容	対象となる取得分類項目
0	非 区 分	下記に該当しない全データ
11	射影部の上端	石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、
12	射影部の下端	人工斜面、被覆等の射影をもつもの
21	高 欄	道路橋、鉄道橋
22	橋 脚	
23	親柱	
26	ガードレール	道路施設
27	ガードパイプ	
31	中 庭 線	建物
32	棟 割 線	
33	階 層 線	
34	外 付 階 段	
35	ポーチーひさし	
46	高側敷地のへい	横断
47	輸送管(空間)	小物体
51	表層面	数値地形モデル
52	海水面	
61	直線	中心線
62	円弧	
63	クロソイド	
64	その他の緩和曲線	
71	石杭	境界標
72	コンクリート	
73	合成樹脂杭	
74	不銹鋼杭	
75	その他の境界標	
76	境界計算点	
99	表現補助データ	横断歩道・石段等の階段部

データタイプ

レコードタイプ

面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

間 断 区 分

コード	内 容
0	間断しない
1～9	間断する(数値は優先順位)

転 位 区 分

コード	内 容
0	転位しない
1～ 9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1～-9	座標列の方向に対して左側に転位する

精度区分

コード	上 位 桁	下 位 桁
	数 値 化 区 分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1～ 50
2	TS等を用いた数値実測	～ 100
3	数値図化法・他の数値地形図データの利用	～ 250
4	既成図数値化(無伸縮図面を使用) *	～ 500
5	既成図数値化(伸縮図面を使用) *	～ 1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	～ 2500
7		～ 5000
8		～10000
9	その他	その他

コメント

コードの追加